

白 山

澤井

位置：岐阜県郡上市・白川村を経て能登半島に至る山地の中心に位置する山地。北アルプスのほとんどすべての山頂から見える存在感の大きな山地である。

白川村の谷を構成する大断層(?：学会では未知)の西側、ホワイトロード南の三方岩岳から郡上市の一の峰・大日岳。大日山(勝山市)を含めて白山山系または白山山地と呼ばれる。

詳しく見ると、白山と言う固有名の山頂はなく、御前峰・剣ヶ峰・大汝山の三峰をまとめて白山三山と呼び、これで白山を代表させることが多い。

なお、大日山・大日岳は主峰の列の両側に分かれるので、白山山系全体を一望できるのは能郷白山頂を除くと俯瞰だけである。添付(c.jpg)は福井市竹生町から見た一望(大日山は左の視野外、大日岳は山の陰)。

一理野温泉からの登山道沿いには仏教伝説につながる地獄谷がある。

白山の最近の噴火は17世紀、剣ヶ峰北・翠^{みどり}が池付^{いけ}近からと言われている。山体は成層火山と言われており、南東側から遠望すると美しい円錐形に見える。

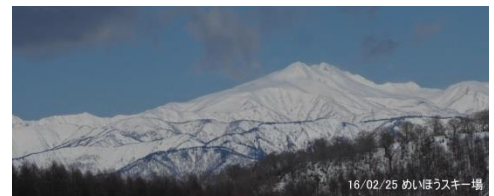
歴史：2017年に開山1300年を迎えた。山頂には御前峰に白山比咩神社(祭神：くくりひめの命)、大汝山におおなむちのみこと(祭神：大国主命)が祭られている。

立山との**対比**：白山・富士山とともに三名山に数えられ、信仰の山として白山とよく似た構成の立山を紹介する。立山は雄山・大汝山・富士の折立の三山の総称であり少し離れて別山、大日山、浄土山と併せて立山山地と呼ぶ。雄山神社のご神体は山自体、大汝は大国主命を祭る。

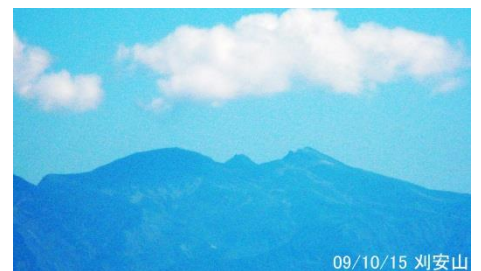
また、登山道沿いには仏教伝説につながる地獄谷がある。



15/11/05 乗鞍上空1万mの機上より撮影



16/02/25 めいほうスキー場



09/10/15 刈安山

注) 俯瞰写真は土本氏(岐阜県)撮影

pdf の添付ファイルの開き方


今回、ファイルサイズの都合で pdf 外部に添付した。

読み出しには一旦 pdf reader から離れて開く。

本文の左の窓に渦巻クリップが表示されている場合

渦巻クリップをクリックして、添付ファイルを選択する

本文左に窓が無い場合

窓枠の  マークをクリックして窓を開く